

広報

かまいし

市長年頭あいさつ

新たな時代の幕開け

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さんにおかれましては、それぞれ思いを胸に新春を迎えたことだと思います。心からお祝い申し上げます。

昨年は、市制施行80周年、近代製鉄発祥160周年の節目の年としてスタートしました。8月には釜石鵜住居復興スタジアムも完成し、オープニングイベントには全国から多くの方々に参加いただき、盛大に開催することができました。

また、岩手大学釜石キャンパスが開設され、水産システム学コースの学生も勉学、研究に励んでおります。さらに、釜石港では湾口防波堤が完成し、岩手県初のガントリーケレーンが設置され、コンテナの取扱量もますます増加し続けております。

昨年12月には、市内復興住宅の最後となる浜町復興住宅が完成し、この3月には宅地造成も全て完了する予定です。震災から8年になりますが、やつと復興の姿が見えるところまでまいりました。これまでのご支援、ご協力に感謝申し上げます。

鵜住居駅前の防災センター跡地には「釜石祈りのパーク」の建設が進められております。ここに、災害による犠牲者を二度と出さないという強い決意の下、市民の皆さんのが主體となり作り上げた釜石市防災市民憲章が刻まれます。私たちはこの憲章の趣旨を大切にして、これからも安全安心なまちづくりを進めていかなければなりません。

本年は、いよいよラグビーワールドカップ2019釜石開催本番です。全国、世界中からいただいた支援に対し、ラグビーを通じて感謝の気持ちを伝えたいと思います。市民一丸となり、大会成功に向けたご協力をお願ひいたします。

釜石と花巻を結ぶ東北横断自動車道、大船渡から山田へ続く三陸縦貫自動車道が開通し、三陸鉄道リアス線も全線開通します。釜石にとって新たな時代の幕開けとなります。海と陸との結節点となる強みを生かし「三陸の大地に光輝き希望と笑顔があふれるまち釜石」の実現を目指してまい進してまいります。

本年が皆さんにとって良き一年になりますようご祈念申し上げ、年頭のあいさつといったします。

釜石市長 鮎田武則